

石油開発 夏の学校

企画書(確定版)

オンライン(Zoom)

日本石油ガス学生団体 実行委員会

内容

1. 目的.....	3
2. 実行委員会の構成.....	4
3. 日時及び開催場所.....	4
4. 実施内容	5

1. 目的

○共に学ぶ時間を共有し、大学間の学生交流を深める

『石油開発 夏の学校』(以下、夏の学校)は、研究紹介やグループワークなどを通して共に学ぶ時間を共有し、大学間の学生交流を深めることを目的にしています。日本の石油開発産業は海外と比べると小規模であり、それに伴い、関連する研究を行う研究室や学生の数も多くありません。関連研究室が全国各地に散在するという地理的要因も相まって、これまで大学間での学生交流の場を持つ機会は多くありませんでした。そこで、新たな交流の場として発足したのが夏の学校です。多くの活動を通して、他大学の学生との深い学生交流を実現します。

○学生ネットワークを形成し、**ALL JAPAN** として国際的な学生交流を行う礎を築く

世界市場のグローバル化が進む中、海外では学生のうちから国を超えた交流が盛んに行われています。そのような各国学生の積極的なイベント参加の理由のひとつに、所属する石油系コミュニティの規模が大きく、ダイナミックな活動が可能であることが挙げられます。活動の準備に多くの人員がさけるほか、イベント参加への競争力が高く志の高い学生が多く集まること、また資金や技術協力において産業との連携が取りやすいという点があります。日本においても、大学単体では厳しいとしても、大学間で連携してそのような大規模学生コミュニティを築くことができれば、国際的な活動にも積極的に挑戦していけると考えられます。夏の学校はそのようなコミュニティ形成の場としての役割を担い、そこで築かれた学生ネットワークが All Japan として結束力を高めると考えています。

○分野を横断する広い視野を身につけるとともに工学的なセンスを学ぶ

夏の学校では石油開発に関連する様々な研究を行う学生が全国から一堂に集まります。したがって、大学内の活動では触れることのできない研究内容にも触れることができ、新たな知見を得ることができます。また産学協同の活動を行うことにより、より石油開発の現場に近い方からのお話を聞くことができ、工学的なセンスを身につける良い機会となります。夏の学校で得た知見を現在の個々の研究にフィードバックすることにより、新たな研究へのアプローチや現場とのつながりを意識した研究が可能となります。

2. 実行委員会の構成

実行委員長

岩本 樹季 (千葉大学 / 生物地球化学研究室)

副実行委員長

高澤 拓夢 (東北大学 / 地質・古海洋グループ)

実行委員 (五十音順)

川浪 嵩史 (早稲田大学 / 石油工学研究室)

佐久間 島駿 (秋田大学 / エネルギー資源工学研究室)

西川 拓己 (京都大学 / 計測評価工学研究室)

藤田 慶 (東京大学 / 増田研究室)

益子 佳公 (新潟大学 / 進化古生物学研究室)

3. 日時及び開催場所

日時: 2021 年 9 月 15 日(水)～2021 年 9 月 16 日(金)

開催場所: オンライン (Zoom)

4. 実施内容

[1 日目] 9 月 15 日(水)

9:45-9:55 開会式

1. 開会宣言 / 岩本 樹季(千葉大学)
2. ご来賓およびご協賛の紹介
3. 諸連絡

【学生発表】分野説明 20分 確認問題 5分

10:00-10:25 学生発表① 地質分野(発表20分+確認問題5分)

発表者: 高林 将也 様(東北大学)

10:25-10:50 学生発表② 探査分野(発表20分+確認問題5分)

発表者: 栃川 彩奈 様(東京海洋大学)

10:50-11:00 休憩

11:00-11:25 学生発表③ 掘削分野(発表20分+確認問題5分)

発表者: 石川 沙羅 様, 山下 香菜子 様
(秋田大学)

11:25-11:50 学生発表④ 開発分野(発表20分+確認問題5分)

発表者: 西川 拓己 様(京都大学)

11:50-13:00 昼休憩

【グループワーク】

13:00 グループワーク(各グループ6~7人)

カーボンニュートラル社会実現に向けた社会の潮流とE&P 業界の今後を
考えるグループワーク

「JX石油開発株式会社」監修

16:00 解散(解散後に各グループでワークを進めることも可能)

[2日目] 9月16日(木)

9:00-10:30 グループワーク発表 (1グループ5分程度)

総評「JX石油開発株式会社」

【企業講演】口頭発表 20分、質疑応答5分

10:30-10:55 講演① JX石油開発株式会社

『E&P技術を生かした地球温暖化対策

～JX石油開発が取り組むCCUSプロジェクト～』

発表者: 青木 毅 様

10:55-11:20 講演② 株式会社INPEX

『INPEX技術者育成の取組み(スキルマップ)』

発表者: 山崎 鐘史 様

11:20-11:30 休憩

11:30-11:55 講演③ 石油資源開発株式会社

『JAPEXにおけるデジタル技術活用の事例紹介』

発表者: 長谷川 智紀 様

11:55-12:20 講演④ 独立行政法人石油・天然ガス金属鉱物資源機構(JOGMEC)

『JOGMECとは – 石油天然ガス開発部門を中心にご紹介 –』

発表者: 長野 雄大 様

12:20-13:30 昼休憩

13:30-13:55 講演⑤ 三菱商事天然ガス開発株式会社

『東南アジア／マレーシアでのLNG原料ガス調達に向けて

(多国籍チームメンバー達と共に取り組むサラワク沖合ガス田開発プロジェクト)』

発表者: 柏木 祐 様

13:55-14:20	講演⑥ 伊藤忠商事石油開発株式会社 『業務紹介、E&P系新規案件評価と脱炭素社会への対応に向けた取り組み紹介』 発表者:高梨 将 様
14:20-14:30	休憩
14:30-14:55	講演⑦ コスモエネルギー開発株式会社 『コスモエネルギー開発(株)の上流事業の特色紹介』 発表者:深江 直紀 様
14:55-15:20	講演⑧ 経済産業省 『石油開発業界に対する国の施策、方針』 発表者:山田 哲也 様
15:20-15:30	休憩
15:30-15:55	講演⑨ SPE日本支部 『SPE日本支部の活動報告とSPE日本支部の紹介』 発表者:飯野 敦 様
16:00-16:15	閉会式 1. 総評 / 顧問の先生 2. 閉会宣言 / 高澤 拓夢 (東北大学) 3. 諸連絡
16:15	終了
19:00	オンライン懇親会(希望学生向け)

【目的】

学生講演を通じて石油開発の基礎知識を学び、企業講演を通して昨今の石油開発を学ぶ。グループワークを通して、カーボンニュートラルに向けた社会の潮流を理解し、今後の石油開発業界について考える。また他大学の学生とのグループワークを通じて、大学間交流を深める。